

# 経営安定支援の内訳（案）

## 1 収支

※JR西日本から示された2022年度の実績等を基に計画最終年度（令和15年度）の収支を試算

【令和4年度（計画前）】

【令和15年度見込（計画最終年度）】

旅客運輸収入		(単位：百万円)			(単位：百万円)	
城端線	248	42本/日	城端線	422	60本/日程度	コロナ前（令和元年度）の運輸収入を基に、運行本数の増分を考慮して試算
氷見線	141	36本/日	氷見線	257	60本/日程度	
計	389		計	679		
経費						
修繕費	250		修繕費	384		運行本数に応じて変動する費用として、運行本数の増分（1.54倍）を考慮して試算
動力費	100		動力費	153		運行本数に応じて変動する費用として、運行本数の増分を考慮して試算
業務費	233		業務費	233		駅別経費や除雪費などのため、現状と同額で試算
人件費	420		人件費	432		運行本数増による人員増、単価は鉄道統計年報からあいの風とやま鉄道の人件費を基に試算
車両修繕費	132		車両修繕費	143		増車後の車両数、新型車両のメンテナンスコストを考慮して試算
減価償却費	300		減価償却費	0		資産の取得費用が補助金で賄われることから計上しない
諸税	40		諸税	40		
計	1,475		計	1,385		

  

<b>収支改善 380</b>
-----------------

  

収支 ▲ 1,086	➡	収支 ▲ 706
------------	---	----------

## 2 経営安定支援

4億円 (出資)		36億円 (移管後、計画期間の5年間)			移管後6年目以降	
県 1/2 2億円	沿線市 1/2 2億円	県 1/4 9億円	沿線市 1/4 9億円	JR西日本 1/2 18億円 <small>※拠出金の残余を活用</small>	県、沿線市 (経営の状況を踏まえ支援)	JR西日本 46億円 <small>※拠出金の残余を活用 (150-86-18=46億)</small>

※移管後、毎年の収支差（▲7.06億円）をあいの風とやま鉄道へ基金支援（計画期間の5年間で約36億円）

※JR西日本は、拠出金150億円のうち、施設整備の残余を基金に組み入れる。

※出資金については、暫定値であり今後必要額を積み上げる必要がある。